

令和3年9月3日（金）



運動会特別時間割の1週間が終わりました。子どもたちは、毎日体育の時間に競技種目の学習を行い、中間休みには表現活動の「南中ソーラン」を動画を流しながら自主練習し、放課後には、3年生以上が表現部と種目部に分かれ、準備活動に取り組んできました。

3年生以上と一緒に下校するまで遊んで過ごすはずだった2年生も、表現部の活動する側で各組の看板の手直しをお手伝いして、運動会への参加意識を高めることができました。

山形県の「感染拡大防止特別集中期間」中の運動会となりますが、6年生にとっては小学校最後の運動会です。地域や保護者の皆様に励ます応援を表現運動に加えて発表したいという思いを叶えるべく、感染防止対策を徹底した上で準備を進めているところです。

令和3年9月7日（火）



週間天気予報では、本日が晴れの予報で、運動会総練習を予定している明日が雨の予報とあって、前日のうちに職員打合せを行い、火曜日と水曜日の2・3校時の時間割を交換することにしておりました。朝から爽やかな風が吹く秋晴れのもと、運動会の総練習を行いました。校長からは、

「開・閉会式の練習では、赤組・白組の皆さん一人一人が、運動会を成功させようという気持ちを、歩き姿・立ち姿・お辞儀・返事等の行動で表現してください。」

と伝え、入場からの一連の流れを通して学習しました。

3校時目には、組頭と種目部長と相談の上、リレーと綱引きの学習をしました。気温がさほど上がらず、熱中症の心配をしなくてもよい点は、コロナ禍の運動会としてはとてもありがたいことです。

本番では、徒競走や技巧走等の個人種目、全員リレー、身体的距離を十分確保する全校表現活動の時はマスクを外し、密集したり声を出したりするまり入れや綱引き等の団体種目、PTA種目の親子二人三脚はマスクを着用するように職員間で確認しています。11日（土）は天候に恵まれつつも、気温が上がらないことを祈るばかりです。

令和3年9月9日（木）



昨日は、児童会活動として、祖父母学級の会員の皆様にご協力いただき、学校の隣の八幡神社鳥居前から境内を清掃する奉仕活動を予定していましたが、残念ながら雨で中止となってしまいました。

本日は気温がぐんぐん上がり、雨で使えなかったグラウンドも午後には乾いてきて、5校時には徒競走とまり入れの学習を、放課後には旧中津川小・中学校からお借りした紅白のはっぴを試着して、全校表現活動を練習することができました。

熱中症予防のため、5校時の体育の学習を早目に切り上げ、報道委員会が明日の給食の時間に放送する「みんなの時間」の収録を行いました。各組頭に続き、一人一人が運動会に向けてのめあてを発表しました。運動会特別時間割のこの2週間で、体力だけでなく、気力の面での成長も感じられる内容でした。いよいよ明日が、運動会練習の最終日です。

令和3年9月11日(土)



結団式から2週間、新型コロナに負けず、21名全員で力を合わせて運動会を成功させようと活動してきました。その甲斐もあって、本日は絶好の運動会日和となりました。保護者の皆様には、早朝から閉会後の後片付けまでご協力いただき大変助かりました。

結果は、団体種目の全てを赤組が勝利し、235対190の大差で優勝しましたが、白組は最後の全校リレーまで諦めずに全力を出し切り、勝った赤組に拍手を贈りながら悔し涙をにじませていました。赤組白組ともに練習の成果を十分に発揮し、手ノ子小の合言葉の「【あ】あきらめない」と「【う】美しい心」を体現できた運動会だったと思います。

全校リレーの前にプログラムを変更して発表した全校表現活動は、21名の絆がさらに強くなったと思わせるような見応えのある発表でした。さらに、アンコールとして、保護者の皆様にも加わっていただき、親子で一緒に「南中ソーラン」を踊った様子もとても感動的でした。感染状況によりご来賓や地域の方々にご覧いただけなかったことは残念でしたが、後日、動画に編集したものを西部地区・中津川地区公民館で放映していただき、手ノ子小から新型コロナに負けない元気を届けたいと思います。

令和3年9月16日(木)



本日の2校時と3校時に、飯豊町教育委員会社会教育課生涯学習振興室の方を講師としてお招きし、全学年で「宇津峠学習会」を行いました。

手ノ子小学校の間近にある「宇津峠」が、平成27年に「未来を伝える山形の宝」に認証され、子どもたちが考えた「宇津峠キャッチコピー」を入れた案内標識をつくることになったためです。

手ノ子小学校の子どもたち全員分のキャッチコピーを「手ノ子区協議会宇津峠部会」へ応募し、選ばれた最優秀作品が、宇津峠入口に建てる大きな看板に記載されます。その他の作品も、優秀作品として別の看板に記載されます。

子どもたちは、宇津峠のキャッチコピーを考える前に、講師の先生から、キャッチコピーのキーワードとなるような様々な話（縄文時代からの古い道、塩、馬頭観世音、海の魚と青そ、宿場町、イザベラ・バード等）を、画像をまじえながらいただきました。

令和3年9月24日（金）



本日、5・6年生が東京外国語大学の学生さんたちとの交流学習をオンラインで行いました。

学習の様子を参観して、まず感心したのは、子どもたちが自分の名前を自己紹介する際、教科書に倣ってスペルを加えて伝えた点です。発音だけでは聞きとりにくいかもしれないという相手意識が伝わってきました。

次に、感心したのは、飯豊を英語でアピールする際、「学校」「自然」「食」について、ロイロノートを使って写真と手書きの英語を入れたフリップを作成したことです。

さらに、説明の文章を録音するために、英語コーディネーターとALTの先生から発音をチェックしてもらい、正しい発音を何度も練習した成果が感じられました。

5・6年生が日頃の学習を活用・発揮できているのは、担任はもちろんのこと、外国語の授業に入ってご指導くださっている町教育委員会の英語コーディネーターとALTの先生方のおかげだと切に感じました。

子どもたちの発表の後、学生さんからも、自分の出身国である「ブラジル」「ドイツ」「ポーランド」や、自分が言語を専攻している「チェコ」「アラブ諸国」の食や文化を、今度は日本語でプレゼンテーションしていただきました。子どもたちは、英語にせよ日本語にせよ、共通の言語でコミュニケーションできることの楽しさや、新しい情報を得ることの喜びを味わうことができたようです。

令和3年9月30日(木)



本日、祖父学級の授業参観と研修会を開催しました。「毎日家にいるので、こういう機会があり、ありがたい。」

「孫の授業を見られる機会であって、祖父母学級があつてこそと幸せに思った。」
といった感想をお寄せいただきました。

研修会では、校長が講師を務め、「『SDGs未来都市飯豊町の創り手を育てるために』～校長として伝えてきたこと、これから伝えたいこと～」という演題で次の4点について講話しました。

- ①5月14日(金)のタブレット授与より、「探究的な学び」と重点目標の「考える力」についての話
- ②8月19日(木)の始業式より、「SDGs」達成のための「Society 5.0」についての話
- ③今後、全校朝会で話す予定の、「SDGs」達成のための「Society 5.0」の続きの話
- ④7月27日(火)の終業式より、「Society 5.0」を生き抜くために大切な「運動習慣」についての話

講話後、祖父母の皆様からは、

「便利な世の中でも自分の足で、自分の頭で乗り切れる大人になってほしい。」

「今は情報時代で孫たちは大変だと思う。それに負けない孫たちをつくっていきたい。」

「もっと話し合う力、相手の心を思いやる力を養いたい。その一助を祖父母が担えればと感じたし、少しでも学んで前へと感じた。」

といった感想をお寄せいただきました。